

## 自尊感情の育成

『一人一人が輝き、つながり合い、  
認め合う保育を目指して  
～ 幼児理解と保育者の役割を中心に～』



## 【3歳児（年少）】

## 1 指導の立場

- ままごとやごっこ遊びの中では、幼児の思いを受け止めたり共感したりして、一人一人が自己発揮しながら遊ぶことができるように関わっていく。そして、遊びに保育者も加わり楽しさに共感したり、友達の姿に関心をもてるような声掛けをしたりして、同じ場で遊ぶ友達の存在や思いを感じ、一緒に過ごす楽しさや心地よさを味わえるようにする。
- 年中児の虫捕りに興味をもち、真似をしてやってみようとする幼児の気持ちを大切に受け止める。また、いきものひろばでは、感じたことや気付いたことを表現している姿を認め、年中児とも関わりがもてるようにしていく。
- 友達や保育者と一緒に体を動かして遊ぶ楽しさを感じることができるよう、鬼ごっこなど簡単なルールのある運動遊びを取り入れる。
- 一人一人が意欲をもって身の回りのことに取り組むことができるように、できたことをその都度認める声かけをして、意欲を高め、自信につなげられるようにする。

## 2 本日のねらいと内容

自分のしたい遊びを楽しむ中で、友達や保育者と同じ場で遊ぶ心地よさを味わう。

- ・友達や保育者と同じ場で遊ぶ心地よさを感じる。
- ・感じたことや思いを自分なりの表現で伝えようとしたり、友達の思いに気付いたりする。
- ・同じ場にいる友達の姿に気付き、興味をもって関わろうとする。

## 3 評価の観点

幼児が自分の思いを表出したり、友達の思いを感じたりしながら、関わって遊ぶ心地よさを味わうことができていたか。

## 4 本日の保育と人権教育

保育者が幼児と一緒に遊びを楽しみ、思いに共感することで、幼児自身が大切にされているという実感が持てるようにするとともに、友達と関わりながら遊ぶ楽しさや友達の思いに気付くことができるようにする。

## 育てたい力

- ◆やりぬく力（自己肯定感、自己有用感）
- ◆伝え合う力（言葉の伝え合い、コミュニケーション力）
- ◆つながる力（協働性、仲間意識・相手意識、認め合い）

5 本日の展開

| 幼児の活動   | ◎環境構成 ・保育者の援助 ★人権の視点での援助  |
|---|---|
| <p>○ふれあいタイムをする。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> <p>【ままごと遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草花で色水作りをする。</li> <li>・泡でケーキ作りをする。</li> </ul> <p>【きのみランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーキを作る。</li> <li>・アクセサリーを作る。</li> </ul> <p>【いきものひろば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫捕りや虫の観察をする。</li> <li>・絵本や図鑑を見る。</li> </ul> <p>【運動遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おにごっこ かけっこ</li> </ul> <p>○片付けをする。</p> <p>○遊びの振り返りをする。</p> | <p>・幼児が安心して参加できるように、不安な様子の幼児には保育者が傍で支援し一緒に楽しむことができるようにする。また、異年齢児に親しみをもてるようにペアになって行う遊びを取り入れる。</p> <p>◎幼児が思いを表出しながら、さまざまなイメージをもって遊びを楽しめるように、幼児の興味・関心に沿ったコーナーを設ける。</p> <p>★幼児のイメージや気持ちを受け止めるとともに、思いや楽しさに共感し、満足感を味わえるようにする。また、友達に関心をもったり、友達の思いに気付いたりすることができるようになる。</p> <p>・やりたい遊びを見つけにくい幼児や、友達との関わりができていない幼児には、気持ちを引き出しながら一緒にやりたい遊びを見つけることができるようにする。</p> <p>・特別な支援を要する幼児には、コーナーの近くに興味のある用具や玩具を用意し、友達の存在を感じながら遊べるように援助する。</p> <p>◎秋の草花を使った色水作りやごちそう作りでは、できるだけ園庭や園周辺の草花を活かすようにする。</p> <p>・幼児が試したい材料を一緒に考えたり、探したりする。</p> <p>◎年長児のきのみランドに刺激を受け、やってみたい思いが高まることから、必要に応じて3歳児が落ち着いて遊べる場をきのみランドの近くに用意する。</p> <p>・保育者が一緒に遊びのコーナーへ行き、声を掛けたり遊び方を尋ねたりして、やってみたい気持ちをもてるようにする。</p> <p>◎飼育ケースや絵本、図鑑など、3歳児にも使いやすく分かりやすい物を準備する。</p> <p>・年中児が餌やりや掃除などを行っている様子を見て高まった、やってみたいという思いを受け止める。できることを一緒に行うことで、生き物を大切にしようとする気持ちをもてるようにする。</p> <p>◎簡単なルールで遊べる場を設け、友達や保育者と一緒に思い切り体を動かして遊ぶ心地よさを感じることができるようになる。</p> <p>・自分から片付けをする姿をしっかりと認める声掛けをし、自信や意欲につながられるようにする。</p> <p>★思いを受け止めたり共感したりして、安心して思いを伝えることができる温かい雰囲気をつくることで、話を聞いてもらえた満足感を味わい、大切にされている実感をもてるようにする。</p> <p>★遊びの場面での友達との関わりなどを保育者が紹介し、友達の遊びの様子に関心をもてるようにする。また、幼児同士で作った物を見せ合ったり楽しい思いを伝え合ったりして、「明日もしたい」「一緒に遊びたい」という意欲をもてるようにする。</p> |

## 【4歳児（年中）】



### 1 指導の立場

- 幼児の気付きや頑張りを認めるようにする。また、ごっこ遊びをしている姿を受け入れ、保育者も一緒に遊びに参加したり、幼児と一緒に必要な物を用意したりして、幼児が保育者や友達と関わって遊ぶ楽しさを感じられるようにする。
- 虫への興味や関心がより高まるように調べたり、自由に観察したりすることができる環境を幼児と一緒に整えるようにする。また、気付きや知っていることを保育者や友達に聞いてもらえる喜びを感じられるようにするために、幼児のつぶやきを大切に受け止めるようにする。
- 思いや考えを友達と伝え合おうとしている姿を見守る。トラブルが生じた時には、一緒に話し合い、どうしたらよいか幼児同士で考える場を設ける。
- 幼児の思いや気持ちに寄り添いながら、共感していく。また、幼児の頑張りや工夫したことなどを引き出していくことで、友達の良さに気付くことができるようにする。

### 2 本日のねらいと内容

自分の思いやイメージを出し合いながら、自分のしたい遊びを十分に楽しむ。

- ・自分の思いや考えを友達に伝えたり、話を聞いたりする。
- ・思いを出し合う中で、友達の思いや気持ちに気付く。
- ・自然物や様々な素材を遊びに取り入れ、工夫して使ったり作ったりする。
- ・簡単なルールのある遊びを友達や保育者と一緒に楽しむ。

### 3 評価の観点

自分のしたい遊びをする中で、お互いの思いを出し合いながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じていたか。

### 4 本日の保育と人権教育

自分の思いを伝えたり、友達の思いを受け入れたりする幼児の姿を認めることで、友達に聞いてもらう喜びや話を伝える楽しさを感じられるようにするとともに、友達の思いに気付くことができるようにする。

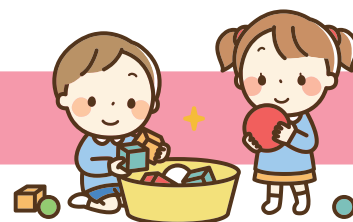
#### 育てたい力

- ◆やりぬく力（自己肯定感、自己有用感）
- ◆伝え合う力（言葉の伝え合い、コミュニケーション力）
- ◆つながる力（協働性、仲間意識・相手意識、認め合い）

## 5 本日の展開

| 幼児の活動   | ◎環境構成 ・保育者の援助 ★人権の視点での援助  |
|---|---|
| <p>○ふれあいタイムをする。</p> <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> <p>【きのみランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセサリーを作る。</li> <li>・どんぐり転がして遊ぶ。</li> <li>・どんぐりごまて遊ぶ。</li> </ul> <p>【いきものひろば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫捕りをする。</li> <li>・図鑑で調べたり、見比べたりする。</li> <li>・虫の家作りをする。</li> </ul> <p>【ままごと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草花で色水作りをする。</li> <li>・泡でケーキを作る。</li> </ul> <p>【運動遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーをする。</li> <li>・鬼ごっこをする。</li> </ul> <p>○片づけをする。</p> <p>○振り返りをする。</p> | <p>◎グループ別に顔写真や異年齢で触れ合っている場面の写真を掲示しておくことで、異年齢の友達への関心が深まるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が間に入って異年齢児とペアになり、年長児や年少児に親しみをもてるようにする。</li> </ul> <p>◎作った物に名前や印をつけたり、飾る場所を用意したりすることで、幼児が満足感を感じたり、友達が作った物に関心をもったりすることができるようにする。</p> <p>★遊びの中で幼児が気付いたことや感じたことを表現している姿を保育者が認め、周りの幼児に伝えることで、友達の言動に関心をもち関わりがもてるようにする。</p> <p>★意見の食い違いが見られた時には、相手の思いを落ち着いて聞く場を設けたり代弁したりして、互いの思いを伝え合えるようにする。また、どうしたらよいか幼児と共に考え、友達の思いに気付くことができるようにする。</p> <p>◎どんぐりやまつぼっくりを用意し、季節の自然物を遊びに取り入れることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージを膨らませたり自分なりに試している姿を認め、したいことが実現できるように幼児と一緒に考えたり試したりする。</li> </ul> <p>◎虫の家や自由に観察できるスペースをつくるために必要な物を準備しておき、幼児の要求によってすぐに出せるようにしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫の生態について幼児が気付いたことや不思議に思ったことなどに共感していく。また、虫の家作りをする幼児には、幼児の思いや作りたいイメージを大切に、実現できるように援助する。</li> <li>・年少児に生き物の扱い方や気付いたことを自ら伝えている姿を認めるようにする。</li> </ul> <p>◎出来上がったごちそうを使ってままごと遊びを楽しめる場をつくり、友達との関わりがもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場で遊ぶ友達の動きや言動に関心があるような言葉がけをすることで、幼児同士がよりよい関わりができるようにする。</li> </ul> <p>◎運動遊びの場では、幼児の要求に応じて場を仕切ったり、ホワイトボードを活用したりして、したい遊びができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競い合って悔しい思いをしている姿が見られた時には、気持ちに寄り添い、自分なりに折り合いをつけようとする姿を認めていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から進んで片付けをしている姿を認め、周りの幼児にも知らせることで意欲をもてるようにする。</li> </ul> <p>★幼児の気付きや思いに共感したり、頑張りを認めたりすることで、友達に聞いてもらう喜びや、話をする楽しさを感じられるようにするとともに、友達の思いにも気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の前で発言することが恥ずかしい幼児には、安心して発言ができるように幼児の気持ちに寄り添い、必要に応じて言葉を補いながら幼児なりの言葉を引き出していく。</li> </ul> |

## 【5歳児（年長）】



### 1 指導の立場

- 自分の思いを伝えたり友達の考えを受け入れたりしながら、一緒に遊びを進める楽しさを味わってほしい。また、他のグループの友達との関わりがもてるようにし、自分とは違う意見や考えがあることを知ったり、友達の良いところや頑張りに気付いたりすることができるようにする。
- 自分たちでしたい遊びができるように、遊び方や作戦など友達と考えを伝え合って主体的に遊びを進められるようにする。トラブルになった時には、自分たちで考えを出し合う姿を見守っていく。場合によっては仲介し、相手の思いに気付かせたい。
- 自分の気持ちを言葉にして伝えようとする姿を認め、一人一人の思いが受け入れられる雰囲気づくりをしていく。幼児から出た考えを全体で共有し、共通の目的に向けて友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを感じてほしい。

### 2 本日のねらいと内容

友達と目的をもって遊ぶ中で、思いや考えを出し合って一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。

- ・自分たちで役割を分担したりルールを決めたりしながら、主体的に遊びを進める。
- ・友達の話聞き思いや考えを受け止め共感したり、違いに気付いて話し合ったりする。

### 3 評価の観点

友達と一緒に遊び方を考えたり工夫したりして思いを共有し、一緒に遊びを進めることができたか。

### 4 本日の保育と人権教育

幼児同士が協力したり話し合ったりして遊びを進めていく場を大切に、思いや考えの違いを知ったり互いの良さに気付いたりすることができるようにする。

#### 育てたい力

- ◆やりぬく力（自己肯定感、自己有用感）
- ◆伝え合う力（言葉の伝え合い、コミュニケーション力）
- ◆つながる力（協働性、仲間意識・相手意識、認め合い）

5 本日の展開

| 幼児の活動   | ◎環境構成 ・保育者の援助 ★人権の視点での援助  |
|---|---|
| <p>○ふれあいタイムをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、体操やゲームをする。</li> </ul>   | <p>★年少・年中児の友達に遊び方を知らせたり、優しく関わったりする姿が見られた時は、十分に認めることで思いやりの気持ちをもつことができるようにする。</p>   |
| <p>○自ら選んだ遊びをする。</p> <p>【きのみランド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐり転がしを作る。</li> <li>・アクセサリーを作る。</li> <li>・ケーキを作る。</li> <li>・どんぐりゴマで遊ぶ。</li> <li>・木工遊びをする。</li> </ul> <p>【運動遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこをする。</li> <li>・リレーをする。</li> </ul> | <p>◎幼児が自分なりの思いや、さまざまなイメージをもって遊びを楽しむように、幼児の興味・関心に沿ったコーナーを設ける。</p> <p>★作りたい物を実現しようと試行錯誤する姿や、思いを伝え合って遊びを進める姿を認めることで、遊ぶ楽しさを感じることができるようになる。</p> <p>★友達と協力して遊びを進められるように、一人一人の思いを伝え合ったり話し合ったりすることができる場をつくるように援助する。</p> <p>◎いろいろな種類のどんぐりや木の実を用意し、大きさや形などの違いに気付き、試したり工夫したりすることができるようにする。</p> <p>◎自分たちの作った物を飾るコーナーや、作った物を介して遊べる場を設けることで、作り方を考えたり教え合ったりして遊ぶことができるようにする。また、友達と協力し、思いやイメージを出し合って作ることができるように、長い板や大きい段ボールなどを用意する。</p> <p>・年少・年中児に遊び方や作り方が分かるように、丁寧に知らせたり遊びに誘ったりする年長児の姿を認める。</p> <p>◎自分たちで遊び始めることができるように、必要な用具(バトン・三角コーン等)を取り出しやすい場所に置いておく。</p> <p>・遊び方について相談したり、年中児に遊び方を知らせたりする姿を認め、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わうことができるようにする。</p> |
| <p>○片付けをする。</p>   | <p>・共同で使った場をきれいにしようとする姿や友達と一緒に片付けたりする姿を認め、進んできれいにしようとする気持ちをもつことができるようにする。</p>   |
| <p>○振り返りをする。</p>  | <p>◎円形に座ることで友達の顔を見ながら話すことができるようにして、話しやすい温かい雰囲気づくりをしていく。</p> <p>★「今日の遊びの中で、みんなに伝えたいことがある？」と投げかけ、それぞれのコーナーの遊びの様子や経過を具体的に話し合えるようにする。その中で、友達のアイデアの面白さや考え方の違いに気付き、「自分も一緒にやってみたい」と感じたり友達の良さに気付いたりすることができるようにする。</p>   |